

**製品名: MAP-9 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13631**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	75kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MAP9
別名	MAP9; ASAP; Microtubule-associated protein 9; Aster-associated protein
遺伝子 ID	79884.0
SwissProt ID	Q49MG5
免疫原	抗血清はヒト MAP9 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 121-170

**背景**

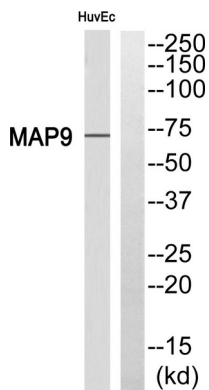
ASAP は、紡錘体機能、有糸分裂の進行、および細胞質分裂に必要な微小管関連タンパク質です ( Saffin et al., 2005 [PubMed 16049101]) 。 [OMIM 提供、2008 年 3 月], 発生段階: 細胞周期中に恒常的に発現します。 , 機能: 双極性有糸分裂紡錘体の組織化に

関与します。双極性紡錘体の組み立て、有糸分裂の進行、および細胞質分裂に必要です。間期微小管を安定化させる働きがあると考えられます。、PTM: DNA 損傷時にリン酸化されます (おそらく ATM または ATR による)。、細胞内局在: 間期には微小管に局在し、有糸分裂中には紡錘体に結合し、細胞質分裂中には中心小体に局在します。、サブユニット: C 末端を介して精製された微小管に結合します。、

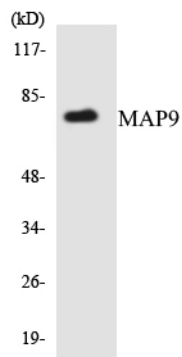
## 研究分野

-

## 画像データ



MAP9 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは MAP9 ペプチドでブロッキングされている。



MAP9 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解液のウェスタンブロット分析。